



## クラウドファンディングを活用した開発販売スキームの 具現化に向けた検討を株式会社クラウドポートと開始

株式会社フィル・カンパニー

駐車場の上部“未利用空間”を活用した「空中店舗フィル・パーク」事業を展開している株式会社フィル・カンパニー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：能美裕一、コード番号：3267 東証マザーズ、以下「フィル・カンパニー」）は、株式会社クラウドポート（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：藤田雄一郎、以下「クラウドポート」）とクラウドファンディングの仕組みを活用した開発販売スキームの具現化に向けた検討を開始いたしました。

### ■検討の背景

当社は空中店舗フィル・パーク事業の更なる認知と信用力拡大のために、請負受注スキームと開発販売スキームの両輪で、1つでも多くのフィル・パークをまちに拡げていくことを基本戦略としております。

後者の開発販売スキームにおきましては、土地オーナーだけでなく一般投資家や機関投資家の高まる不動産投資ニーズにお応えするため、投資対象としてのフィル・パークを当社グループが企画・開発・販売することとし、そのスキームの構築を図っております。具体的には、当社グループにおける財務状況を勘案しながら、リピート顧客、一般投資家や機関投資家とのコネクションを持つ戦略的パートナーへの直接販売とし、段階的な販売チャネルの拡大・販売スキームの開発に取り組んでまいりました。

クラウドポートは、スマートフォンひとつで簡単に様々な企業への貸付ファンドに投資し、分配金を得ることができるオンラインマーケット「Funds（ファンズ）」の提供企業であることから、このたび、クラウドポートとのクラウドファンディングの仕組みを活用した開発販売スキームの具体的検討・構築を通じた当該スキームの更なる拡大を意図し、新たな取組の検討を開始することといたしました。

### ■投資家にとっての価値

クラウドファンディングの仕組みを活用した当社における開発販売スキームの投資家にとっての新しい価値は、「投資を通じて、投資家がまちづくりに参加できる」ということにあります。

従来の空中店舗フィル・パーク事業では、あるフィル・パーク作りに関わるプレイヤーは、「土地活用に困っているオーナー」と「テナント」「利用者/顧客」「フィル・カンパニー」の4者であって、まちに生きる一人ひとりには「ユーザー」としての関わりに留まっておりました。

本取り組みでは、まちに生活する一人ひとりの「ユーザー」に投資家として関わる機会を提供することを通じて、投資家に「土地と一緒に再生させていく5番目のメンバー」として関わっていただけるようにすることで、出来上がった建物からの利回りを得られるメリットだけでなく、「その土地再生を通して人々がまちづくりを行う」というストーリーの立役者になれるということを価値として提供したいと考えております。

#### ■今後の進め方

まずは事業開始までのスピードを重視し、他社との協業などを活用してサービスのリリースを目指します。リリース後、案件実績を踏まえながら将来的には当社における関連許認可(第2種金融商品取引業、不動産特定共同事業法 第3号・第4号事業者など)の取得も視野に検討を進めたいと考えております。

以上

#### 株式会社フィル・カンパニー 会社概要

住所 : 東京都千代田区富士見2丁目12-13 フィル・パーク KaguLab. IIDABASHI

代表者 : 代表取締役社長 能美 裕一

事業内容 : 駐車場上部空間を活用した「空中店舗フィル・パーク」の企画・開発・運営・管理

ホームページ : (コーポレートサイト) <http://philcompany.jp/>

(サービスサイト) <http://philpark.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社フィル・カンパニー 社長室 TEL : 03-5275-1701